

# 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（千葉中央・九十九里部会）		
タイトル	あすみが丘を歩く		
実施日時	平成 29 年 3 月 19 日（日）10 時～14 時 30 分		
実施場所	千葉市緑区		
受講者	F I C 会員他スタッフ	9 名	

## 活動の内容

JR 鎌取駅に 10 時集合、天候に恵まれたハイキング日和です。まずは、鎌取駅から南西方向の有吉貝塚公園を目指します。片側 1 車線は十分とれそうな道路が遊歩道になっていて、有吉サクラ公園經由有吉貝塚公園に車の心配をしないで行けます。「なんと贅沢な！」と思ったところ、当初はモノレールを走らせる計画だったのが取り止めになり、そのあとを利用したんだそう。



立派な！遊歩道

有吉貝塚公園は、地表に貝の化石が散乱しています。鎌取というところかなり内陸に入ったイメージですが、縄文時代は海まで 2km 未満だったようで、加曽利貝塚と同様に人々は海の幸をふんだんに利用していたのでしょう。貝塚公園には有吉日枝神社というかなり格式の高そうな神社があり、立派なカヤやタブノキが見られます。



有吉日枝神社

次に訪れたのは泉谷公園、湧水が湧き出ており“蛭の里”としても知られています。ここは落葉樹と常緑樹の混交林になっていて、特に斜面の池に近い斜面にムクノキの大木があるのが目を引きます。ここからは植物観察が楽しめる「おゆみの道」経由で大百池公園まで辿ることが出来ます。

大百池公園は字のごとく「大きな池」のある公園ですが、特にスダジイの巨木が多いのが特徴です。またスギとスダジイの「合体木」が多く見られます。トータル 7km ほどでしたが、ブラブラ歩きはかえって足にくるようで「ビールがうまそう」との感想も聞かれました。



泉谷公園のムクノキ巨木



合体したスギとスダジイ（大百池公園）



大百池公園のスダジイ大木